

☆大阪狭山市 議会 我だより

—編集・発行 議会だより編集委員会—

みらい大阪狭山子



- 代表質問.....②
日本共産党議員団(松尾 巧)
公明党(片岡由利子)
さやま維新の会(小原 一浩)
政風クラブ(須田 旭)
フロンティアネット(西野 滋胤)

- 個人質問.....⑤
山本 尚生(政風クラブ)
井上健太郎(フロンティアネット)
松井 康祐(政風クラブ)
徳村 賢(公明党)
上谷 元忠(さやま維新の会)
藤田 育子(日本共産党議員団)
北村 栄司(日本共産党議員団)
鳥山 健(みらい創新)

- みらい大阪狭山『子ども議会』を開催.....⑩
- 議会報告会を開催.....⑪
- 市PTA連絡協議会と意見交換会を実施.....⑫

◆次回の議会報告会の日程が決まりました◆

▶ 5月21日(土) 午前10時から
市役所 3階第一会議室

▶ 5月22日(日) 午後2時から
コミュニティセンター 大会議室

質疑内容は各議員が作成し、抽選により決定された質問順序のとおり掲載しました。

一般質問

議会を傍聴 しませんか

3月定例月議会

- 2月22日(月) 議会運営委員会
- 2月29日(月) 初日
- 3月9日(水) 代表質問
- 10日(木) 個人質問
- 15日(火) 建設厚生常任委員会
- 22日(火) 総務文教常任委員会
- 28日(月) 最終日

本会議録画映像
配信中!



代表質問 日本共産党議員団 松尾 巧

ため池太陽光発電と、化石燃料使用ゼロのエネルギー施策について

問 地球環境にやさしい再生可能エネルギーの普及が求められている。本市も、いくつかのため池を活用した「太陽光発電や、化石燃料使用ゼロのエネルギー施策」を、株式会社を設立して、取り組んでいると聞く。①その事業の目的と内容、これまでの経過を伺う。②太陽光発電の施設概要と維持管理経費、事業見通しは。③化石燃料使用ゼロのエネルギー施策のシステムと費用負担や、市の責任はどのようなものか伺う。

答 ①狭山池築造1400年を契機に、地域資源を生かしたまちづくりを進めたく、太陽光と化石燃料ゼロのエネルギー施策を実施する。平成27年11月19日に市が100パーセント出資したメルシー for SAYAMA株式会社を立ち上げ、12月4日にホームページにアップした。②当初4箇所のため池予定が3箇所となり約3900キロワットで、維持管理はメンテナンスを含む20年間のリース契約で、リース会社が行う。事業見通しは、売電総額から維持管理のリース代を差し引いた残額を農業管理などに充当する。尚プロポーザル形式で業者を選定する。③化石燃料使用ゼロの施策は、大手企業と連携して事業を進めるが、現在、事業内容について調整協議中なので現段階では説明できない。調整が完了次第、事業内容など報告する。

問 ホームページで池3箇所以外に土地3箇所も挙げられているが。また、企業との調整が完了すれば報告すると答えられたが、その時期は。

答 池以外、3箇所の市所有地も活用予定である。年内には報告でき

るよう鋭意努力する。

子育て新制度での保育について

問 子育て新制度により保育のあり方が大きく変わった。保育条件や保育内容など、市の裁量で決まる。

①保育料も所得税から市町村民税の算定になり、年少扶養控除も廃止された。保育料の上がった人数、変化のない人数、下がった人数は②小規模保育で3歳以上の保育確保を③公立幼稚園の存続と3年保育の実施を。

答 ①保育所・認定こども園に入所している689人で、高い階層になった191人、変わらない階層404人、下がった階層94人である。②市内で昨年10月小規模保育事業が開始されたが、保育所等の複数の施設にそれぞれ1人の枠を確保しており、優先的に連携施設へ入所する。③市立幼稚園の入園児は、昨年の新入園児より43人減少し、望ましい規模の集団が難しくなっている。子どもたちにとって最適な教育、保育の環境を提供するため、認定こども園への移行や幼稚園の再編、3年保育について方針を決めていきたい。

大阪狭山市駅の無人化解消と、周辺道路の整備や安全対策の充実を

問 無人駅は危険、踏切東側を北に向かう道路も危険との声が多い。南海電鉄への要請と、道路整備や看板など交通安全対策の充実を求める。

答 南海電鉄に駅員配置を要望しており今後も要請する。踏切周辺は地区会やPTAからも要望があり、今後も安全対策の充実に取り組む。



代表質問
公明党
片岡 由利子

本市行政運営の今後について

問 来年度、5年、10年後の本市の行政運営の方向性、具体的なまちづくりをどう考えるか伺う。

答 大阪狭山市公明党議員団から、平成28年度大阪狭山市の施策への提言及び行財政運営に関する要望は、市政を運営していく上で非常に参考になるものと受けとめている。要望の趣旨も踏まえて適切に判断したい。



大阪狭山市第四次総合計画後期基本計画の策定や総合戦略、公共施設等総合管理計画が策定され、いよいよ新年度予算編成が動き出すところです。

本市の新地方公会計制度の選択について

問 総務省の新地方公会計制度では、原則として日々仕訳を行うが、一括仕訳の選択もある。より正確性を担保するためには、日々仕訳を行い、毎月の財務諸表を市のトップが確認し、行政評価、市政運営を行うことが必要と考える。本市の選択とその根拠について伺う。

答 現時点では期末一括仕訳を選択する予定。平成30年度以降、日々仕訳の導入について検討する。

要望 出来るだけ四半期一括や月次一括にして日々仕訳をめざすこと。

子ども子育て支援のさらなるサービス向上に向けて

問 重点要望として提出した子育て支援策の取り組みを伺う。

答 保育コンシェルジュは、新年度からぽっぽ園に配置したい。認定

こども園への移行も視野に市立幼稚園の再編と併せて3歳児教育の提供体制を検討する。保育の待機児童は、平成28年4月に解消できる見通し、保育の提供体制を強化したい。放課後児童会は、東小学校敷地内に専用施設の設置に取り組む。第2子育て支援センターは、狭山中学校区内に整備していく。

被災者支援システム バージョン7への取り組みについて

問 現状と今後の取り組みを伺う。

答 おおさか防災ネット職員向けシステム（バージョン5）の利用を考えている。必要であればバージョン7に更新するよう要望したい。

狭山中学校建替用地の有効活用について

問 現状の取り組みを伺う。

答 第2子育て支援センターの建設が決定したら、周辺地域の環境に配慮し、他世代間交流が生まれる拠点施設の構築に向け今後検討したい。

野良猫・捨て猫の避妊手術助成について

問 捨て猫による住民被害も後を絶たない。取り組みを伺う。

答 大阪府所有者のいない猫との共生事業の検討状況を注視したい。

ユニバーサルデザインのまちをめざして

問 学校教育や社会教育における取り組みについて伺う。

答 ハード面は、全ての小中学校に多目的トイレを設置し、公民館、総合体育館、池尻体育館、ふれあいスポーツ広場の各駐車場に市役所のような譲り合い駐車区画を設けた。ソフト面は、教職員の研修を実施している。また、子どもたちがUDの理念を深めるための取り組みを実施している。

代表質問
さやま維新の会
小原 一浩

狭山池に関連して

問 狭山池と副池に関して

副池は狭山池の平成の大改修に伴って、ビオトープ副池オアシス公園として整備されて散歩などに大いに利用されている。今後、狭山池・副池を一体として扱うのが良いと思うが。

答 副池オアシス公園は、今後も公園の魅力の啓発について検討していきたい。



副池

問 世界遺産登録の申請について
平成26年の6月に「国の史跡名勝が取れたら世界遺産登録を進めていきたい」と答弁された。その後の市の動きは。

答 昨年3月に国の史跡に指定され、世界遺産登録に向けての要件は満たした。市民レベルでの機運や登録への環境を整えば、将来的に世界文化遺産登録をめざすべきであると考えている。

意見 狭山池単体ではとても無理だ。文化庁は、今は受け付けていないし、共同搭載は難しい筈だ。

問 金堤市（キムジェ市）の動向について

金堤市（キムジェ市）のホームページには、世界遺産共同搭載に関する説明が見つからない。昨年10月の市長訪問時に共同搭載の話があったか。

答 世界遺産に向けての共同搭載の話は出なかった。

問 舗装工事の為の通行止め

2月26日まで全面閉鎖し通行止めとなっていたが、12月中には舗装工事の大方は終わる。木橋が通れない間でも「管理道路部分」の開放方を近隣の住民と話し合いを。

答 未供用部分を通行することに近隣の方は木橋工事期間中だけとはいえ、開放しないで欲しいとのご意見ゆえに、開放は困難。

問 周回道路の北東側一部の通行止め

既に16年間、通行止めのままである。池が国の史跡にもなった今、過去の経緯はともかく、未来永劫にストップしたままなのか。

答 北東の管理用通路部分は、改修工事の際、確認事項として一般には開放しない約束事があったらしい。本市の職員が近隣市民と修繕前の住環境と改善後の住環境の変化などについて意見を伺った。今後も引き続き大阪府とも調整しながら問題解決に向け取り組んでいく。

市役所食堂の復活について

問 地下の食堂は閉鎖されたまま。自席で昼食をとっている職員の姿も見受ける。消灯した薄暗い席での弁当昼食はいかにも味気なく虚しい。

答 現在、食堂跡の地下スペースは職員の食事等に活用している。厨房設備などが無くなり職員食堂の復活は困難な状況。

市内の2つの駅の有人化について

問 9月定例月議会で質問した時に、議会の終了後に南海電気鉄道へ話しに行くと回答されたが。

答 市長名で両駅への駅員の再配置について要望書を提出し、「経営改善策の一環であるので」との回答あり。本市は無人化を一日も早く解消するよう重ねて要望した。

代表質問
政風クラブ

須田 旭 あきら

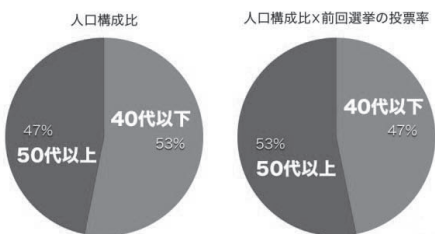
府知事・大阪市長選挙をうけて

問 選挙結果、知事公約の大阪府を副首都化する構想、再挑戦する大阪都構想に対して、市長の考えは。

答 現状を打破する改革を進めてほしいとの民意だと思う。都構想は賛成。副首都化についてはこれまでの都構想を継承するのか、新たな設計図を示されるのか今後見極めたい。

問 ダブル選挙は大阪の将来、地方分権、政党の勢力図にも影響が大きいとしてマスコミ等で取り上げられた。対して投票率は本市も前回より約7ポイント低い45.9%であった。①今夏からの選挙権年齢引き下げだが、若年層の投票率は際立って低い。低調であれば、政治の活性化も望めない。若年層の投票率低下に策を講ずることが急務。②知事選での市内各投票所の投票率はどのような傾向なのか。昨今の期日前投票の増加も踏まえ現行の投票所を見直す必要は。

人口では勝っている40代以下。
しかし投票に行かないため実質の票数では……



答 ①学生の関心を高めるため市内の大学、専門学校等の協力を得て、選挙事務に従事する学生の募集を行い、知事選挙においても15人が従事。ホームページ等の啓発、成人式で啓発物品を配付し、新成人に対し投票の呼びかけも行っている。今後は学校へ投票箱等の選挙備品の貸し出しや選挙の模擬投票についても検討したい。②現時点では投票所の見直しは考えていない。総務省は投票所

における名簿のオンライン化や、どの投票所でも投票できる投票区外投票の検討が必要としているので動向も注意しつつ環境整備に向け取り組む。

要望 本市でも市民性教育を充実させ社会との繋がりに重きを置いた人材育成を。若年層の投票率向上だけでなく地域の活性化にも繋がる。金剛駅周辺に期日前投票所新設を。

狭山池築造1400年記念事業

問 ①水辺の魅力を活かすことができるラバーダックは、国内での展示実績が大阪市と尾道市のみで、設置に対するハードルの高さを危惧している。②今年のNHK大河は真田丸だが、豊臣家存続のため交渉を重ねていた片桐且元と狭山池で縁のある本市としては、大河ドラマとコラボを望む。

答 ①10月緊急議会で展示に係る補正予算がつき、協議を進めている。展示期間中は、多くの来訪者をもてなすために、市民や市内飲食店が主体となった企画を検討中。今後の展開は、今年の展示実績を踏まえ検討。②ボランティア団体さやか観光会が真田幸村・大阪城入場ガイドウォーク実行委員会の一員として参画。市としても南海電気鉄道を始め関係機関等の協力を得ながら、相乗効果により新たな人の流れを呼び込みたい。

防災・防犯対策について

問 ①少子高齢化、地域コミュニティの希薄化が進む中、災害時の基本である自助、共助の観点から子ども向けの消防団組織をつくる考えは。②国は防災・安全交付金関係の補助金で、防犯カメラを設置する予算の補助を行っているが事業予定は。

答 ①訓練等子ども向け啓発活動は行っているので現時点で組織化はしないが将来的には。②交付金対象となる市街地再開発、都市再生区画整理、都市公園等事業の予定はない。

代表質問

フロンティアネット

しげ つぶ
西野 滋胤

新しい学習指導要領に応じた今後の取り組みについて

問 平成28年度を目途に学習指導要領の改正に向け、中央教育審議会で審議されているが、本市の今後の取り組みについて見解を伺う。

答 自立した人間として、他者と協働しながら未来を切り開いていく力、いわゆる21世紀型能力を育てるため、アクティブ・ラーニングや英語教育など、本市の状況を踏まえた取り組みを始めている。

一方、学力向上の基礎として、教職員、保護者、地域、行政の連携を更に深めたい。

要望 ①現行の指導要綱では、知・徳・体のバランスの取れた生きる力をめざすとある。子どもたちが自由にボール遊びのできる公園や校庭開放など体づくりの環境整備を求める。②教育環境の整備として、生徒数の偏重や東小学校の校庭の狭隘など喫緊の課題解決に取り組むことを求める。③行政として、先生が市民から尊敬され、自信を持ってリーダーシップを発揮できるサポートを求める。

子ども・子育て利用者支援事業について

問 平成28年度よりぽっぽえんにて利用者支援事業を開始する。一方、保健センター内でも利用者支援事業を開始すると聞いているが、どのように連携するのか見解を伺う。

答 基本型をぽっぽえんで、母子保健型を保健センター内で実施したい。基本型は、当事者目線の寄り添い型の支援と地域の子育て支援の体制づくりを進める事業であり、母子保健型は、保健師、助産婦などの専

門職が妊産婦を対象に相談に応じるものである。双方の専門員が定期的に会議を行い、緊密な連携に努める。

要望 狭山中学校の南側所有地も第2子育て支援センターの設置場所として最適地として検討されているが、施設の連携にはテレビ電話で中継するなど、ワンストップサービスの実現を要望する。第2子育て支援センターの開始までは市役所内に支援員を置くことを要望する。



子育て支援センター
『ぽっぽえん』

地域包括ケアシステムの構築について

問 在宅医療と介護の各関係団体がICTを使って患者の情報を共有するシステムの導入が決定した。しかし、高齢者が住み慣れた地で生活するには解決すべき課題が多い。地域包括ケアシステム構築に向けた今後の取り組みを伺う。

答 認知症施策として、認知症ケアパスの作成、認知症初期集中支援チームの設置、認知症カフェの開設に取り組んでいる。生活支援・介護予防施策として、高齢者を生活支援サービスの担い手とし、地域の中で新たな役割を担って頂くことが介護予防につながると期待している。今後も国の施策方針を基本とし、地域包括ケアシステムの構築に努めたい。

要望 在宅医療、認知症施策、生活支援・介護予防の充実強化に積極的に取り組んでおられる。今後も医師会等とより強力で連携して頂くことを要望する。

個人質問

ひさ お
山本 尚生

放課後児童会の現状と今後の対応は

問 放課後児童会は、児童を「預かる」だけでなく「学びの場」へとシフトしていく傾向があるのでは。

答 放課後児童会も学習支援チューター事業等を利用できる。学びの場の提供について、そのニーズを研究していくが、増える入会希望者へ対応するための施設整備に努めたい。

農業振興と高齢者の参画

問 高齢者の農業参画は、高齢者の主観的健康感の増大だけでなく、農業振興にもつながるのでは。

答 魅力ある都市農業の確立のために、耕作放棄地の解消や農業の担い手の育成等に努め、高齢者の農業参画なども調査・研究していく。

女性職員の登用の状況と展望は

問 女性職員が活躍する意識付けや環境づくりが必要では。

答 女性管理職は、11.4%で、女性職員が少ないことが要因の一つである。今後、女性職員の意識改革を図るとともに、職員の適性や能力が発揮できる職場づくりに取り組む。

浸水及び道路冠水対策について

問 大雨時に、浸水や道路冠水が発生している。例えば、東野南交差点等では、早急な対策が望まれるが。

答 抜本的な解消には雨水管整備が必要である。東野南交差点は地下埋設物が輻輳しており、雨水管の埋設が厳しく、府道の側溝整備を完了させ、その効果を見て、さらに、抜本的な対策を検討していく。

小田原市長の来訪と陣屋町さやまの推進

問 小田原市長との懇談や縁をま

ちづくりにどう活かされるのか。

【答】 狭山藩は、小田原市民にあまり知られていない。小田原市は、鎌倉市など8市2町で北条5代観光推進協議会を設立している。協議会入会も検討したい。北条氏を広くPRし、陣屋まち大阪狭山市を、もっとまちづくりに活かしていきたい。



個人質問

井上 健太郎

広報について

【問】 ダイジェスト版の発行を。

【答】 広報誌に掲載されている主な内容を一目で理解してもらえるとともに、思い出してもらえなど、広報誌を身近に感じていただくための手法の一つと考えている

先進事例も参考に手法を検討する。



『広報 おおさかざやま』

三学期制への移行について

【問】 授業時数の確保、夏休みをはさんだ学びの連続性、年間を通した行事のあり方など、工夫をこらし、先行実施している中学校での変化は。

【答】 3つの中学校が評価基準をそろえ、長期休業前に評価を子どもや保護者に伝えることで、休業中の補充学習への参加や課題への積極的な

取り組みにつながっている。

【問】 小学校ならでの取り組みは。

【答】 季節や学期ごとのバランス、市の行事や他校の状況などを踏まえながら、各校で年間スケジュールを調整中。

小中学校ともに、これまでの取り組みの成果を生かしながら、教育課程の充実を図っていく。

【要望】 小学生のこどもたちにとって、初めての3学期、秋の運動会となる。こどもたちの戸惑いなどへのサポートを願う。

また、体験活動においても、より大きな学びとなるよう取り組んでいきたい。

防災訓練について

【問】 総合防災訓練と学校、地域、公共施設などでの訓練をリンクさせていく必要があると考える。防災拠点となる学校との連携について。

【答】 学校主体の防災訓練や防災教育の充実に取り組むとともに、地域や関係機関と連携した対応ができるよう努める。

日ごろから学校を中心に校区の人々が集い、顔を合わせる機会を多くつくることが重要であると認識している。学校との連携が図れるよう、避難所運営訓練など、いざというときに役立つ内容を検討していく。

個人質問

松井 康祐

庁舎南館の有効活用について

【問】 先の議会報告会で「市社会福祉協議会は市役所南館にある地域包括支援センターと両輪でこれからの地域福祉の核となるところである。社会福祉協議会事務所の整備を」との意見が市民より寄せられた。現在南館には地域福祉を進める上で大切な役割を果たす窓口が存在している。

この南館に社協事務所を移転すれば、地区福祉委員会や小地域ネットワーク、さらに民生委員・児童委員の皆さんの活動との連携が強化され相乗効果も期待できると考える。現在利用されている団体との協議調整を含めた南館の有効活用について伺う。

【答】 福祉サービスの提供という観点から各種業務窓口がワンストップで1箇所に集約されること、また市と社会福祉協議会との緊密な連携が必要なことから、市役所から近い場所に事務所機能を移転することは望ましいと認識している。既に使用されている団体もあり、庁舎機能の再編という全庁的な課題として検討していく。



貧困の連鎖を防ぐため

【問】 生活保護を受給して育った子どもが大人になって再び生活保護を受ける、いわゆる貧困の連鎖が大きな問題となっている。子どもたちが自分の可能性を信じて前向きに挑戦することにより、未来を切り開いていけるという環境をつくる必要があり、一番大切なのは子どもの学習支援だと考える。法の垣根を越えた貧困の連鎖を防ぐための施策について伺う。

【答】 現在、生活困窮者自立支援法上の学習支援事業について実施に向けた準備を進めている。教育委員会では学習支援チューター事業や、学習塾や家庭教師等の指導を受けない中学3年生を対象とした学習の場を提供している。今後も配慮を要する児童生徒を中心に据えた関係グループとの連携・協力を一層強化し、

子どもの将来が生まれ育った環境によって受ける影響を可能な限り小さくするよう努めていく。

個人質問 さとし 徳村 賢

認知症対策について

急速に進行する高齢化に対し、健康保険、介護保険における市や個人の負担増を考えると、抜本的な対策を今打たなければ手遅れになる。

問 ①認知症サポーターの活躍の場について。

②認知症カフェの設置について。

③認知症チェッカーの利用について。

答 ①先進市の事例等を研究し、活躍してもらえる場の提供に努める。

②現在建設中の認知症対応型のグループホーム等の複合施設の中に認知症カフェを設置する方向。今後も設置に向けた取り組みを進める。

③認知症ケアパスの策定や認知症初期集中支援チームの配置に向けた取り組みなどを進めており、必要となった場合、検討する。



「引きこもり」の社会復帰支援について

現役世代の不就労者・引きこもりの増加は、高齢家庭の負担となっている。

問 ①本市の引きこもり者の実態把握状況について。

②引きこもり者やその家族に対する相談や支援の実施状況について。

答 ①対象者の年齢、家族構成など状況は様々であり、支援を必要とする対象者を特定することは極めて

困難な状況。

②相談窓口はコミュニティソーシャルワーカーを中学校単位に1人配置し、事案の解決に向け相談・訪問し支援を実施。

また、障害に関する相談支援センターを市内3箇所設置し、相談を受け、訪問を行うとともに関係機関につなぐ等の支援を実施。今後も相談・支援を行っていく。

歩道の改善について

問 循環バス停留所では雨除けシェルターやひと休みベンチが設置されており、場所によっては1人通行できる程度の歩道幅になっている。

答 バス停留所によって様々な課題があり、これらの状況を十分に把握した上で、今後の歩道整備の際に改善に努めていく。

個人質問 さとし 上谷 元忠

「国史跡指定記念狭山池シンポジウム2015 狭山池を未来に伝える」に参加して

問 今年、狭山池築造1400年を迎えるが、当日の一般の参加者が少なく、大韓民国の金堤市(キムジェ市)との世界文化遺産共同搭載をめざすには、あまりにも盛り上がり欠け現実離れしている。このよう状況で登録をめざす夢を実現するために多大の労力と税金を投入する見解を伺う。

答 金堤市(キムジェ市)との交流、文化や観光、教育などの分野で市民レベルの交流を図り、気運を高め、登録への条件が整った段階でめざすべきものと考えている。

要望 1993年から世界遺産搭載をめざして取り組んでいた、古都鎌倉の寺社等の搭載は一旦なくなり、

百舌鳥・古市古墳群についての搭載も昨年かなわなかった。狭山池自体、1400年に亘る稲作文化の貴重な灌漑遺産ということは十分認めるが、世界文化遺産共同搭載をめざすことについては、軌道修正を求める。



狭山池

三学期制へ戻る事を契機に、教職員の多忙感の解消を

問 公立の小中学校の先生方は、様々な教育課題から、日々多忙の中で勤務している。来年度から、小・中ともに三学期制に戻る機会に教員の多忙感を解消し、教員が「元気な状態で児童・生徒と接する・触れあう時間」が確保できるような施策をめざすよう求める。

答 日本の教員の過当たりの勤務時間は、OECD関係の調査により参加する34の国や地域の中で最も多い。学校の役割や教員の職務の見直し、事務の効率化を図るためICT機器の活用や人手的な学校サポート体制の充実を推進している。三学期制に向けて、各校の代表者による教育課程連絡会を組織し、教材の共有化・事務の効率化、行事や評価等を検討し、教育課程の精選に努めている。学校全体の公務の効率化をめざし、教員が子どもと向き合う時間が一層多く確保できるよう取り組む。

個人質問 こもだ 薦田 育子

都市農業の推進と農地の保全について

問 市総合計画の中で、「大都市

近郊の利点を生かした新鮮で安全な農産物の供給や、市民農園としての活用により、遊休農地増加の抑制と共に貴重なオープンスペースとしても大きな役割を担っている農地の保全や活用を図っていくことが求められている」とあるが、農業経営環境の変化等により住宅地に変わったり、休耕田や耕作放棄地が増加しているのが現状。広い視野に立った研究と対策が急がれる。市、農業関係者に加え、市民や専門家等で研究、検討し、振興計画を作成し、具体化を進めていただきたい。見解を伺う。

【答】 基本構想に基づき、農用地の効率的、効果的な利用促進に努める。また、農業関連団体との連携をはかり、市にあった農業施策を推進していきたい。



【要望】 都市空間の維持発展は、農業振興発展のみならず。本市のまちづくりの重大課題の一つである。市民全ての知恵と力を合わせていく課題である。新しい発想も含め具体化のための取り組みを要望する。

認知症の方への支援について

【問】 社会生活を出来るだけ維持し、認知症状の進行を抑える点からも、認知症対応のデイサービスは大切な役割を果たすと聞く。また、介護者の日々の介護は精神的にも、肉体的にも負担が大きい。疲れを癒したり病気で寝込んで介護出来ない時など安心して託せるショートステイは心強い。認知症対応型デイ・ショートステイの受入れ定員は限られてい

る。定数増を求める。

【答】 現在のところ待機者はない。迷惑行為等で断られるケースもあるが、状況により事業所に配慮の申し入れを行う。

【問】 介護保険制度の改定により、要支援が介護保険から市に組み込まれる予定。これまでより後退しないように。市の対応は。

【答】 可能な限りサービス低下が生じないように準備をすすめていく。

個人質問

北村 栄司

障がい者のショートステイが大阪狭山市内でできるように要望する

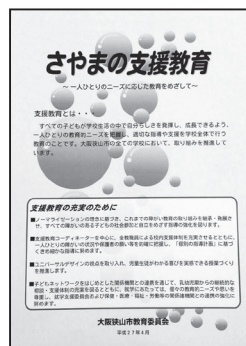
【問】 現在、大阪狭山市内でのショートステイは4箇所あるとされているが、いずれも高齢者で介護保険における要支援者が主な対象となっている。そのうちの1箇所は身体障がい者のショートステイを行っているということだが、実績はゼロと聞いている。

「全ての障がい者のショートステイが大阪狭山市内で実施できるようにして欲しい」というご家族の皆さんの切なる願いだということを知ってもらい、市が計画を持って進めてもらいたい。

【答】 現在、身体障がい者のショートステイサービスを提供する事業所は1カ所であるが、新設に向けた手続を進めている団体の情報もあり、今後市内でのショートステイサービス提供事業所は、増えるものと予測をしている。議員質問の、市内でのショートステイサービス利用の拡充には、サービスを提供する事業所の数を増加させる必要がある。

今後、障がい福祉計画を踏まえながら、市内や近隣で活動している社会福祉法人などに対して、事業所の設立を働きかけていくとともに、近

隣市町村においてサービスを提供している事業所の情報提供を行い、利用しやすい環境づくりに努めていきたい。



小中学校の通級指導の充実を要望する

【問】 小学校から中学校への連携について、指導に当たる先生への援助体制について、保護者の意見、要望は十分に把握し、子どもたちの発達と保護者の悩みにも援助できる体制をつくってほしい。

【答】 相談体制の充実を図るとともに、医師や専門家、スクールカウンセラー、特別相談員などと連携しながら取り組んでいるが、教育委員会としては、通級指導を含む支援教育の充実に一層努めていきたいと考えている。

個人質問

鳥山 健

世代循環を促す住民誘致戦略

【問】 長寿社会を支えるため「母になるなら流山市」等を展開。30歳代人口の増加で人口減少・少子高齢化を突破した流山市を参考にしたい。



母になるなら、流山市。

独創的でわかりやすい
キャッチフレーズの
公式PRサイト
(千葉県流山市)

【答】 流山市のマーケティング手法導入の成果を参考に、本市の魅力情報を分かりやすく発信するよう努める。

【要望】 世代循環を促す誘致戦略を。

スポーツ振興基本条例を

【問】 運動やスポーツ習慣を身につける政策の必要性を強く感じる。抜本的に本市のスポーツ振興を図るため条例の制定を提案するが。

【答】 スポーツ振興は教育行政だけでなく、広範な行政分野においてとるべきと認識。条例でなく、まず方向性の指針の構築を検討したい。

【要望】 指針づくりの組織をつくり、一つの形にしてほしい。

防犯（多機能）カメラの設置推進

【問】 ①6月定例会月議会で提案した経過は。②機能性等からカメラに無停電Wi-Fi機能の装備を再提案するが。

【答】 ①実現性に向け調査研究を重ねている。②東大池公園と狭山池公園で再生可能エネルギー等導入推進事業を進めており、今後こうした所からモデル的にWi-Fiや多機能防犯カメラ等の設置を検討していく。

【要望】 モデル設置したら検証を。検証結果を踏まえて、設置推進を。

子どもを守る市民協働の確立

【問】 「見守り隊」を市民協働として確かな位置づけを行い確立すべき。

【答】 協働形態の事業協力に位置づけている。

【要望】 620人を越えた見守り活動に、行政はもう一歩気持ちを。市広報等で、活動内容の特集を組んでは。

堺市境界での消防活動

【答】 消防組織法第39条の相互応援等に則った消防活動であった。

【要望】 「消防の地域格差」を感じた。消防人員又消防団員装備（安全靴・防煙マスク等）の充実を。

委員会審査の あらまし

議案は常任委員会に付託され審査されました。
主な内容は次のとおりです。

建設 厚生 常任委員会

下水道事業に地方公営企業法を適用することに伴う関係条例の整備に関する条例

【可決】

【問】 上水道事業と下水道事業が統合され、上下水道部となるが、会計はどうなるか。

【答】 下水道事業が地方公営企業法の適用を受け、上水道事業と組織統合を行うが、水道事業は既に企業会計を行っているので、水道事業と下水道事業の別会計になる。

【問】 下水道会計は特別会計のため、一般会計から、特に地方債、元金等の返済を繰入れしてきた。金額的に2億数千円が投入されているが、統合後も引き継がれるのか。

【答】 公営企業になるので、さらに経営努力、企業努力を行いながら、今後も繰入は行っていく。

【意見】 一般会計から補填された分は、利用者に負担がかかってくる。当面は一般会計からでも入れて負担がかからないように、その努力をしてもらいたい。

消費生活センターの組織及び運営等に関する条例

【可決】

【問】 消費センターが平日を通して開設されるが、新しく消費生活相談員を配置することになるのか。また、人員の配置はどうなるか。

【答】 現在、週4日の午後1時から

5時までを平成28年4月1日から月曜から金曜まで昼休みを除く午前10時から午後4時まで開設する予定。相談員の体制は、現在と同じ2人の相談員が交代で行う。

【要望】 相談日の周知徹底と消費生活センターのPRを。市民からのいろいろな苦情や悩みが増えている。できるだけ親切で丁寧な対応を。また、手に負えない場合は、大阪府の消費センターと連携をとってもらいたい。

介護保険条例及び国民健康保険条例の一部を改正する条例

【可決】

【討論】 反対 マイナンバー制度に基づく条例の一部改正で、特定の個人を識別するためデメリットが大きく、問題がある。所得証明など一部の手続が省略できるが、漏えいされた場合の被害は大きい。マイナンバー制度の差し止め裁判も起こっており、危険性を考えれば、再検証して廃止の方向をめざすべきと考えるため反対。

【賛成】 番号法の施行に伴い、介護保険及び国民健康保険の施行規則が改正されたことを受けての徴収猶予や減免申請等の記載事項を改正するためのもの。また、保険料の減免及び徴収猶予の申請期限に関する改正についても、減免等を受ける利用者の利便性を高めるもので、賛成。

総務 文教 常任委員会

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例

【可決】

【討論】 反対 全国的にマイナンバー制度をめぐる混乱が起こっており、1月からの開始の前提が大きく揺らい

でいる。市区町村から番号を知らせる通知カードの送付についても、出発から混乱の連続である。受取人不在で渡せないケースもかなりの数で、現場は大変である。また、マイナンバーをしっかりと管理できない人への対応も不明確で、医療・介護等の現場も苦悩しており、一人ひとりの生活状況を考慮しない政府のやり方が問われている。また1月から顔写真を記載した個人番号カードの申請は任意で、紛失すると個人情報が高リスクが高い。マイナンバー制度の差し止め裁判が提訴されるなど、国民の不安は広がるばかり。危険性を検証・再点検し、廃止へ向け見直しが必要という考えから反対。

【賛成】 マイナンバー制度により、国の行政機関や市町村は税金や年金など管理している個人の情報を相互に活用することで、社会保障や税制度の効率性・透明性を高め、市民の利便性の向上、公平かつ公正な社会をめざすものである。マイナンバー法第9条第2項の規定に基づき、社会保障、税、災害対策の分野の事務について、条例で定めることにより必要な限度で個人番号を利用できるため、個人番号の利用に関してその取扱いを定めるもので、マイナンバー制度の活用により行政手続の効率化や簡素化を図ることができる事務について、市民ニーズに適切な対応、市民が安心できるよう十分な説明と万全な管理体制の整備を要望して賛成。

一般会計補正予算 (第5号)

【可決】

【問】 サヤカホールの舞台の調光卓取替工事について。

【答】 今回は小ホールの調光卓の取り替え工事、平成6年の開館から使用している調光卓が修理不能のため、交換する工事である。

【問】 コンベンションホールの利用

頻度について。

【答】 平成26年度の稼働率については65.4パーセントである。

【要望】 コンベンションホールのカーペットは、当時論議のうえ決定されたが、市民の中にはフローリングのほうがいろいろな使い方があるという。今後、張りかえの時期が来たとき、検討してもらいたい。

【問】 山本地区に設置された地域型保育の内容について。

【答】 小規模保育A型で定員は12人。0歳から2歳児対象の施設で、現在8人が入所している。

【問】 公定価格の適正化で補正を組んでいるが、これで民間と公立が同じ保育料になるという理解で良いか。

【答】 公定価格は公費負担分も含む利用料全体をさすもので、保護者が

負担する保育料だけではない。幼稚園の保育料については2年間の経過措置を設けているので、公立と民間が同じになるのは平成29年度以降である。

【問】 公立幼稚園は民間より保育料が安価ということで選択されるメリットはなくなる。公立も教育内容で付加価値をつけて対応していくのか。

【答】 幼稚園は教育要領に基づいて保育している。幼小の段差解消という視点で幼児教育の中に教育の部分を取り入れる。来年度は、英語教育を充実させるため予算を組みたいと考えている。今後も大阪狭山市の幼稚園児にとって何が必要かを考えていく。

【要望】 時代のニーズに応えた教育をしてもらいたい。

開催しました みらい大阪狭山『子ども議会』の 発表者や発表タイトルの一覧

学校名	発表者 (児童・生徒氏名)	発表タイトル	答弁者 (議員氏名)
南中学校	下口 大貴さん	地域内の関わりを深めるために	北 好雄議員
	西田 達久人さん		
第三中学校	林 利晃さん	皆が安全に遊べる街をめざして	徳村 賢議員
	岡田 謙心さん		
狭山中学校	福谷 公佑さん	狭山池を世界遺産にするために	松井康祐議員
	藤井 ひな子さん		
西小学校	重村 慶さん	安心して暮らせるまちづくりについて	北村栄司議員
	古川 楓さん		
南第一小学校	毛穴 佳郎さん	笑顔・自然のあふれる町	山本尚生議員
	宮下 壮一郎さん		
南第二小学校	渡辺 ひなのさん	発展させよう大阪狭山市	須田 旭議員
	中山 楓実香さん		
南第三小学校	西村 春菜さん	きれいな心で住みやすい大阪狭山市づくりについて	薦田育子議員
	高岡 ななみさん		
北小学校	足立 健悟さん	大阪狭山市に住み続けたい、と思う街づくりを進めていくには、どうすればよいか	上谷元忠議員
	鳥山 雄平さん		
第七小学校	米澤 遥香さん	変身、大阪狭山市について	鳥山 健議員
	倉本 乃笑さん		
東小学校	中尾 洸太さん	これからの大阪狭山市のまちづくりについて	小原一浩議員
	奥谷 太一さん		



議会報告会

～ 報告内容や意見・要望について ～

平成27年11月7日にSAYAKAホール、8日に市立コミュニティセンターで議会報告会を開催しました。いずれの会場も第1部に9月定例会議会の報告、第2部に市民との意見交換会を行いました。

ここでは、市民の皆さまからいただいたご意見やご要望の内容を一部抜粋して一覧として掲載し、回答や説明などの詳細については、今後、ホームページやチラシ等において報告する予定です。

●平成27年11月7日(土)の開催の状況

○出席議員：井上健太郎、上谷 元忠、片岡由利子
北村 栄司、須田 旭、徳村 賢
山本 尚生

○一般参加：21人

●平成27年11月8日(日)の開催の状況

○出席議員：小原 一浩、北 好雄、鳥山 健
西野 滋胤、松井 康祐、松尾 巧
丸山 高廣

○一般参加：21人

意見や要望などの一覧

9月定例会議会の報告と、「魅力あるまちづくりについて」を意見交換会のテーマに、意見や要望などをいただきました。

✓ 9月定例会議会の報告より抜粋

平成26年度(2014年度)一般会計決算について

平成26年度(2014年度)一般会計決算額は、歳入総額193億5,034万円、歳出総額は186億2,276万円となっています。

歳入歳出差引額は7億2,758万円で、翌年度へ繰り越すべき財源が6,668万円となっており、実質収支額は6億6,090万円の黒字となっています。

議会報告会では、決算の内容や主要な事業について資料をもとに説明をし、併せて、審査結果についても報告しました。

平成26年度(2014年度)の特別会計等決算について

平成26年度(2014年度)の国民健康保険特別会計決算をはじめ、各特別会計等の決算の内容について資料をもとに説明し、併せて、審査結果についても報告しました。

条例等の審査状況について

大阪狭山市個人情報保護条例の一部改正、大阪狭山市手数料条例の一部改正をはじめ、各種条例の改正内容や審査状況について報告しました。

✓ 市民との意見交換会より抜粋

- 小学校の夏季の学童の申し込みが締め切り前に定員一杯であった。若い現役世代に、もう少し手厚く対応してほしい。若い世代が多く住み、安心して働けるまちにしなければ人口も増えない。
- 子どもの就学援助について、就学援助費が実際に支給されるのは9月。負担の多い小学校に入学するときや新学期が始まる時にしてほしい。
- 子ども医療費助成について、一部負担がないようにしてほしい。
- 道路の白線が消えていたり、歩道に大きな草が生えていた。きめ細かなチェックを。
- 鳥が来て、ふんが落ちるとのことで木が切られた。知恵やアイデアを出して、木を切る以外の方策を。
- 最近では、地元でない人がだんじりを曳いている現状。地域コミュニティが薄れてきている。
- 各交差点や通学路で、朝夕見守ってくれている見守り隊のモチベーションを維持向上させるための施策を。
- 狭山池の橋の工事及び土手の通行禁止区間について。
- 狭山池の世界遺産登録についての考えを聞きたい。
- 自治会退会率の急進について、真剣に議論を願う。
- 陶器山とあまの街道はウォーキング等で愛されているが、森そのものに目を向けてほしい。
- 警察署分署の誘致と社会福祉協議会事務所の整備について。
- 狭山池の記念事業の中に狭山池と深いつながりがある末永雅雄博士を何かの形で加えてほしい。
- 地域包括支援センターを中学校区の範囲でつくってほしい。
- 狭山駅、大阪狭山市駅には駅員がない。大阪狭山市駅前に観光案内する場所がない。
- 幼稚園と保育所の統廃合やこども園について、これからのビジョンを教えてください。など

大阪狭山市PTA連絡協議会と第2回意見交換会を実施

平成27年11月29日に市役所第1会議室で、大阪狭山市PTA連絡協議会と第2回意見交換会を実施しました。

「住み続けたいまち・子育て・教育」をテーマに、PTAの皆さんからの質問や提案に対し、議員が回答や意見を述べ、活発な意見交換が行われました。



主な提案内容

- ◆みんな（特に若者）が住みたいと思うには、買い物が便利であることが大切。大きなショッピングモールの誘致について。
- ◆部活動の備品や道具を購入する予算を確保できないか。スポーツによる青少年育成を推進すべきと考える。など

12月定例会で審議された案件と議決結果

議案名	会派名 議員名	公明		維新		政風		共産		フロンティア			鳥山健	議決結果	
		片岡由利子	北好雄	徳村賢	上谷元忠	小原一浩	須田旭	松井康祐	山本尚生	北村栄司	薦田育子	松尾巧			井上健太郎
人事案	人権擁護委員の候補者（新井宏子氏・北田徹氏）の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任
条例	下水道事業に地方公営企業法を適用することに伴う関係条例の整備に関する条例／消費生活センターの組織及び運営等に関する条例／議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び消防団員等公務災害補償条例の一部改正／市税条例の一部改正／家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例並びに放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議決結果 議長につき採決に参加なし
	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例／介護保険条例及び国民健康保険条例の一部改正	○	◇	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	
その他の議案	大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
補正予算	一般会計補正予算（第5号）／下水道事業特別会計補正予算（第2号）／池尻財産区特別会計補正予算（第3号）／水道事業会計補正予算（第1号・第2号）	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
意見書	ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の治療推進を求める意見書	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※表の見方 『○』は賛成、『×』は反対、『◇』は平成27年12月21日の本会議を欠席のため、採決に参加なし。

会派名及び議員名は、会派名とともに50音順。

公明…公明党、維新…さやま維新の会、政風…政風クラブ、共産…日本共産党議員団、フロンティア…フロンティアネット。

大阪狭山市の魅力発信及び発展に関する事業等調査特別委員会を設置

1月15日に1月緊急議会を開催し、大阪狭山市の魅力発信及び発展に関する事業等調査特別委員会を設置及び委員を選任しました。また、1月18日に第1回特別委員会を開催し、委員長に松尾委員、副委員長に鳥山委員が就任しました。

- 設置目的：①市が推進する魅力発信及び発展に関する事業について調査・研究するとともに、事業の進捗状況をチェックすること。
②市出資法人への議会の関与について調査・研究すること。

委員定数：15人